

数学科

2年

※DF特太ゴシックは学力向上関わる内容

※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能</p> <p>1年次に比べて、数学(算数)の基礎的な事象は、多くの生徒が理解できている。一部生徒に四則演算の方法があいまいな生徒がいる。習熟度別少人数のコース内でも、理解度に差が生じている。重要項目は、一人ひとりに反復練習の習慣を身に付けさせ、速く正確に解ける力を伸ばす。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>既習事項を利用して複雑な問題や発展的な問題を考えることについて、積極的に取り組む生徒が多い中、最初からあきらめてしまう生徒もいる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>授業に対する意欲は高く、前向きに学習する生徒が多い。生活の中の課題と結び付けた課題においては、特に興味を示す生徒が多い。一部、解法の手掛かりが得られずに作業が中断してしまう生徒がいる。個に応じた指導が必要である。証明や説明などの問題では、取り組んでみようという気持ちが高まらず、何をしたいのか分からない生徒も点在する。</p>	<p>1 知識・技能</p> <p>知識を問う問題を丁寧に扱う。また、数学の用語を正しく理解することを目指す。<u>感染症対策を十分に講じた上で、説明や発表において、できるだけ多くの「数学用語」を用いて行うことを意識させる。</u></p> <p>基礎的な問題演習を充実させることや、計算コンクールを通し、反復練習を大切に学習させる。基礎基本が定着した生徒には応用問題にも取り組ませる。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>類題問題を繰り返すことにより成功体験を積み重ねさせる。苦手とする生徒には、解法のパターンを覚えさせる。また、<u>感染症への予防対策を行ったうえで、自分の解き方や考え方を他者に説明させることで、様々な考え方を共有し、さらに深い理解につなげる。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>基礎クラスでは計算の基礎基本を丁寧に指導する。また、<u>感染症への予防対策を行ったうえで、生徒が考えたり活動したりする時間を適切に計画し、お互いに教え合うことで互いの理解をより深めさせる。</u>授業の内容を理解させることで意欲を持続させる。生活の中の事象と多く結び付けることで、生徒に興味をもたせ、積極的に関わる姿勢を育てる。</p>